

小さな声に耳を傾け 市民の目線を大切に！

事務所

〒733-0815 広島市西区己斐上4丁目11-14

電話 082-273-4439 FAX 082-559-2702

メール masahironowa@sky.megaegg.ne.jp

URL <http://www.hiroshima1966.com>

山本まさひろ
ホームページ》》

発行/市民連合



まさひろ
山本昌宏

令和4年度予算特別委員会

中央図書館等の 移転整備

移転整備費は、中央図書館・子ども科学館・青少年センターを2施設に集約する事で市の財政負担も軽減が計られ、機能強化出来る事や工期の短縮等、市長から丁寧な説明がありました。

「大切な資料」

中央図書館は、広島ゆかりの文学的寄託を受けた貴重な文学資料があり、映像文化ライブラリーは我が国初の映像文化施設で国際平和文化都市をテーマとして映像資料を収集しています。

「抱えている課題」

老朽化、書庫、読書スペース等が手狭で中央公園内は災害時の浸水想定は、5m～10mの区域です。

「こども図書館」

昭和24年にアメリカ合衆国からハワード・ベル博士を通じて絵本を受託。翌年、ロサンゼルス市の南カリフォルニア広島県人会から児童図書館建設費寄付を頂いた歴史的背景、市民の要望を受けて閲覧・読聞かせスペースを部分的に残す事に成りました。

図書館は子どもの成長に合った空間づくり、様々な障害に対応し必要な資料を手軽に閲覧出来る機能が大切だと考えます。



*質疑の動画を
ご覧下さい。

(総務関係)



昌宏の要望提案

「既存の子ども図書館」

①南側外の自然の中で読み聞かせが出来るよう屋根を設け縁側のような空間を造ること。

「新図書館に求めること」

②ベルコレクション千五百冊の絵本等も合わせてデジタルアーカイブ化など更なる有効利用を検討すること。

③図書館の中心にふさわしい市民の好奇心を掻き立てる中央図書館にすること。

地域とともにある 学校づくり

いじめ対策の質問

いじめなどの生徒指導の校内体制、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置に加え、いじめ防止対策において、何に重点的に取り組もうとしているのか。

生徒指導の取組み

これまでも教育相談支援主任を中心として進める教育相談の充実や、スクールカウンセラーと連携した「MLB教育」等の推進、学年間・学校間の切れ目ない情報引継ぎの定着などに取り組んできました。

続き



①広島市映像文化ライブラリーはわが国で初めての総合的な映像施設という位置づけを再認識し、最新技術を駆使したメディア芸術施設とし、収集・保存の方法をさらに工夫し、保存技術を最新にすること。

「収集」の施設から「収集・保存・活用」の施設とすること。

⑤図書利用者カードを公共施設の統一電子カードにし、利用状況を把握し、市民サービスの向上に務めること。

来年度は生徒指導主事や教育相談支援主任を対象とする集中研修の中で、取組の周知徹底を図り各学校における好事例を紹介し、より一層の充実を図ります。

教職員の意識の向上

作成中の「支持的風土の醸成された学級づくり」に係るリーフレットを、集中研修や校内研修で活用します。

児童生徒の意識の向上

「児童生徒による主体的ないじめ防止の取組」を推進します。

いじめ未然防止の充実

「支持的風土の醸成された学級づくり」に向けて、各学校の取組の一層の充実を図ります。

働き方改革の質問

コロナ過で部活動が自粛され、新たに校庭の草むしり等、今までになかった負担も加わった所もある。

働き方改革の観点から、校庭開放も放課後以外の平日昼間でもグラウンドゴルフ等に地域の方に定期的に利用頂き、そうした地域の方々に、校庭の草むしりに協力頂くのも、一つの解決方法だと考えます。



学校の教職員の負担を、少しでも軽減できるような改善を願います。学校と地域が協力して、お互いの課題解決に取り組んでいくことが求められるのではないかと考えます。

学校の目指すところ

保護者や地域住民等が当事者として学校運営に参画することを通じて、学校と地域の連携・協働体制が組織的・継続的に確立され、「地域とともにある学校づくり」をより効果的に進めることを目指して活動します。今後学校と地域との

連携・協働を一層推進し、教職員の働き方改革の観点も踏まえ、持続可能な学校教育体制の構築を目指していくとともに、地域にある学校が、子どもの教育施設としてのだけの機能ではなく、地域の活性化のために幅広く活用いただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

文教関係の要望提案

地域とともにある学校

学校と地域が協力し、お互いの課題解決の取組がスムーズに行くように支援すること。

情報教育環境の整備充実

ICTの運営支援体制を学校現場の声も踏まえ、必要に応じて更なる拡充も検討すること。

就学前指導

「10オフ運動」を就学前、幼稚園児童にも推進すること。

経済的支援の周知

経済的な理由によって修学が困難な世帯に対する支援制度の更なる周知をすること。

いじめ風化の防止

新年度を迎える毎にいじめで亡くなられた児童生徒に寄添う振りがえる機会をもつけると。

こども医療費補助年齢拡大

令和4年1月より

こども医療費補助が

①通院の補助対象年齢

小学校3年を6年生に拡大。

②未就学児の一部負担金を、初診料算定時に限って負担に変更。



広島市 認知症コールセンター

親(配偶者)が認知症かもしれない。

どうしたらよいのか。

どこに相談したら

介護がうまく話を聞いてほしい。



専用ダイヤル 082-254-3821

相談日時：月曜日・水曜日

正午(12時)から午後4時まで

こども医療費受給者資格認定申請

が必要になります。詳しくは

広島市公式HP こども医療費補助へ



コロナ禍の 公民館活動は



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、県からの要請を受け蔓延防止が出れば、社会教育施設の多くが利用出来なくなり、市民は生活リズム、活動量を維持しづらい状況です。コロナの影響を受け既に2年が経過しました。

本市では、新たな取り組みの模索が行われていると考えますが、公民館は年間約1/3の107日間が満足に利用出来ていません。

ある地区社会協議会では市から社協に貸与されたタブレット端末を活用し、ZOOMを利用した、おしゃべり会・オンラインの百歳体操などの取り組みを行っております。

コロナ禍で市民活動、運動量は減っており継続的な支援が欠かせません。感染対策を十分取り、制限を設けた利用や公民館を地域の情報発信の拠点とし、新たな生活様式に備えることが必要と考えます。

昌宏の要望提案

公民館にネットワークシステムとZOOMを常設し新たな生活様式に備える取組を行うこと。

外国人市民への支援

一緒に来日した家族が日本語でコミュニケーション出来ない場合が多い。

例えば、子どもが学校で受取ってくる手紙が読めない、理解出来ない。

地域ではゴミも分別しないまま出され、放置される場合もあると、お聞きします。

多様な人種が共存共栄する社会が既に来っており、お互いの誤解や思い込みをしないためにも私たち受け入れる地域住民側の理解も不可欠だと考えます。

多文化共生事業に熱意がある外国人市民を人材バンクに登録し、国際交流や多文化共生に関する事業や要請に応じ講師として派遣、外国人市民自身が母国の生活や文化等を紹介する事業があります。

外国人市民が地域生活でスムーズなコミュニケーションが取れる状況になっていけば、災害時が起きた時、避難所でも困る事も、少なくなると考えます。

昌宏の要望提案

市民と外国人市民の国際交流の場を継続して醸成すること。



脱炭素社会に向け

市民・事業者・行政等が一体となって、脱炭素社会の構築に向けて2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロを目指す取組んでいます。

現時点における最新の令和2年度の排出量は30万4446トンで平成25年度と比較すると約8万9千トンの削減で、削減率は22.6%となっており、令和2年度に5.1%削減するという短期目標は達成しています。

省エネルギー対策として、本市が所有する施設へのエネルギー効率の良い照明・空調等、設備の導入を推進、改修経費を光熱費の削減分で賄う、ESCO事業による道路照明灯のLED化、公用車の次世代自動車への更新などに取組んでいます。

再生可能エネルギーの導入として、小・中学校等へ太陽光発電設備の設置やバイオマスボイラーの導入などに取組んでいます。目標達成には、市民の協力が欠かせません。

昌宏の要望提案

市民の取組み成果の見える化、全庁に渡る取組みと森林管理制度の推進すること。



新たな不法投棄対策

廃棄物の不法投棄の対策で広島県は、衛星データとAI（エー・アイ）



技術を活用することで、不法投棄等の発生箇所を網羅的に把握し、巡回監視業務の効率化実現に向けた「ひろしまサンドボックス」検証実験を行っています。

本年3月の最終報告実証実験の結果、衛星データ等を活用して新たな監視方法を構築することが出来れば、廃棄物の不法投棄や不適正保管の早期発見に繋がると期待しています。

本市でも海空は年1回、陸は7グループで定期的な巡回に地域協働による再発防止策などの取組を行っています。不法投棄ごみは、早期発見、早期対応が重要となります。

昌宏の要望提案

不法投棄の「2mライン」による通報システムの構築を進め、早期対応と業務の効率化に努めること。

市民ニーズを 新たな製品に

長期化するコロナ禍で市民は「新しい生活様式」で様々な不自由や不便を感じ悩んでいます。

広島の中小企業の技術で市民の悩みを解決出来るのではないのでしょうか。

広島はものづくりの裾野が大変広く、今まで培った様々な技術があります。

コロナ禍で市民が感じている不自由や不便を、地域のものづくり企業の技術を生かして解決出来れば、市民生活の向上だけでなく、地域経済の活性化にもつながると考えます。



本市では介護福祉現場のニーズなどをものづくり企業に紹介するセミナーを開催し、試作品の改良や見本市の出版に要する費用の支援、事業化戦略策定や販路開拓の為に専門家派遣を行っています。

昌宏の要望提案

市民からコロナ禍で感じている不自由や不便、悩みを募集すること。

コロナ禍で新たに生じている市民ニーズと企業の技術を融合し、新たな製品の開発につなげていく取組を検討して頂きたい。

本市の考え方

ものづくり企業において、コロナ禍など社会の変化により生じている市民ニーズを、新たな製品の開発につなげていくことは、企業の業績向上及び市民生活の質の向上のために非常に有効であると考えています。

委員御提案の内容も踏まえ、業界団体との会合等を通じて企業の声をお聞きしながら、ものづくり企業の新製品開発に向けた市場調査の支援として、どのような方法がよいのか検討してまいりたいと思います。



コロナ禍で大変な中、ご支援を賜り誠に有り難うございます。皆様から頂くご意見、疑問の声を交え令和4年度予算特別委員会では、文教関係・経済観光環境関係・総務関係で質疑に立ち、要望提案を重ねて参りました。

皆様のお陰で初めて進行役も賜り新たな経験を積むことが出来ました。

6月の本会議に向け皆様のご意見・要望提案をお待ちしております。ご指導宜しくお願い申し上げます。

山本昌宏

広島市LINE公式アカウント

便利なサービス、ご意見も募集中です。

「家庭ゴミの収集日配信」

祝休日のゴミ収集・不燃ごみ・資源ごみ
その他プラの隔週ごみ・地域設定もOK！

「学校給食情報」

給食の献立・アレルギーを確認登録も出来ます。

広島市

市民くらしのガイド

広島市では「市民くらしのガイド」を各区役所で配布しております。

電子書籍版はQRコードで広島市HPまで



朝の見守り活動を応援いたします。新一年生も頑張っている通学しています。

ご自宅に近い通学路で週1回から始めてみませんか？

皆さまの、やってみたい気持ちを支援いたします。

広島市の知りたいこと。疑問に思うこと。困っていること。

ご連絡は電話 082-273-4439 広島市議会議員 山本 昌宏

